
僕の隣のメリーさん（コタツより）

さくらだ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の隣のメリーさん（コタツより）

【コード】

N5793M

【作者名】

さくらだ

【あらすじ】

「わたしメリーさん」で有名な彼女が安住コタツの地を手に入れたようです

どう考えてもゆるすぎるたくつと読める二人の日常

(前書き)

メリーさん×脱力×コタツ×みかん

メリーさん「わたしメリーさん、今あなたの隣でコタツに入ってるの」

「…そうですね」

メリーさん「あ、チャンネルかえてくれる？」

「何チャンネル？」

メリーさん「フジテレビ。めっちゃイケみたい」

「おk」

メリーさん「このコタツってどんな魔力が宿ってるのかしら…きつと西洋の名高い黒魔導師が半生をかけた」

「ニトリの技術者さんたちが2万以下で提供してくれてるよ。というかそろそろ仕事したら？」

メリーさん「それは間接的に死にたいっていつてるのかしら？」

「いい加減出てけと言ってるのだが」

メリーさん「一寸の虫にも五分の魂、一万人のニートにも五分の魂。殺生なんて無粋だと思わない？」

「ニートの魂の原価安に吹いた。そしていろいろと納得いかない」

メリーさん「はぁぁぁ…。コタツ幸せ」

「コタツいらなくなった瞬間に殺されんじやないかと最近思う」

メリーさん「コタツがなくなったら扇風機をつければいいじゃない」

「安住する気満々か!?!」

メリーさん「うるさい。殺すわよ」

「みかんとってやんねーぞ」

メリーさん「ごめんなさい、調子に乗りました。私めにみかんをとってください豚野郎」

「…#」

メリーさん「あはははは。ふむ、最近シンクロやんないな。やっぱり定期的にキツイのかな」

「俺は加藤家のお父さんがまた見たい」

メリーさん「加藤さんはもうきつと無理だと思つわ」

「いや、彼ならきつとやってくれるぞ」

メリーさん「そういえばもう八時回ってますわよ。今日の夕飯は?」

「吉野家とすき屋どっちがいい?」

メリーさん「すでに作る気もありませんのね…」

「ついさっきバイトから帰ってきたんだろつが#。もう動きたくない」

メリーさん「休日出勤おつかれさまですわ。今日もポチタマが面白かったわ」

「俺もたまには吉本新喜劇見ながらごろごろしてえよ…はい、これ」

メリーさん「…これは?」

「見ての通り財布だが。あ、俺は牛丼特盛りで」

メリーさん「私に買ってこいというの!?!この極寒の中!?!」

「お前一日中コタツからでてないじゃないか、少しは動け」

メリーさん「すでに外の気温はマイナスをとつに越えて

「12 だ。まだ11月だろうが」

メリーさん「うう…。か、買い置きのカップ麺は」

「昨日お前が夜食に食った」

メリーさん「…」

「いいかげん腹くくれ」

メリーさん「電話帳かして」

「...?。ほい」

ぶるるるるるる...

メリーさん「もしもし?私メ」

「今すぐ電話切って玄関に出る」

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5793m/>

僕の隣のメリーさん（コタツより）

2010年10月9日22時16分発行